

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

339号

2019年5月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

4月ワシントン 韓米首脳会談 何が話されたか

韓国の文在寅大統領は、トランプ米大統領の招請を受けて4月10日からワシントンを訪問して韓米首脳会談を行った、報道によると文大統領は11日午前中、トランプ大統領との会談に先立ちポンペオ國務長官、ボルトン国家安全保障会議補佐官、ペンス副大統領と相次いで会談を持った。会談の中身は詳しく報道されていない。

11日、文在寅大統領夫妻はホワイトハウスを訪問して、トランプ大統領夫妻の出迎えを受けた。両首脳は夫人たちが同席する中、会談前の冒頭発言を行い記者たちの質問に答えた。

今回の会談では共同声明発表などは予定されていなかったもので、この冒頭発言が記者たちを前に揃って発言する唯一の機会だった。そして今回の首脳会談の方向を示す重要な発言があった。

まずトランプ大統領は「朝鮮と良い会談を持ったが、望む結果は達成できなかった。しかしいくつかの点で合意があったのは事実だ。金正恩委員長とは良い関係にある」と発言し、また「韓国とは貿易・軍事問題において協議し、韓国が特に軍事装備などを米国から多くを購入している。

最近、両国間で重要な貿易の再協定が妥結された。文大統領は軍装備の購入を決定した。戦闘機、ミサイル以外にも多くの装備を購入してくれたことに感謝する」と述べ、両首脳と両夫人との永遠の友情を称えて韓米の関係が緊密であることを強調した。

今回の首脳会談の重要なテーマの一つが貿易問題であり、首脳会談前の一連の國務長官、副大統

領などとの接見で話しあわれた可能性が高い。もちろん朝鮮半島の非核化問題も主要テーマだが、貿易問題に重点があったのではないかと。文大統領は南北首脳会談、第3回朝米首脳会談、南北米3者会談に繋げるために、高い買い物をつらなトランプ大統領から押しつけられたかのかかもしれない。

文大統領は2つの感謝の言葉を述べた。一つは江原道の山火事で米軍がヘリコプターを動員して

鎮火に協力してくれたこと。もう一つは大韓民国臨時政府樹立100周年にあたり、上下両院で記念決議案を発議したことについて感謝の意を述べた。続いて、トランプ大統領の努力で朝鮮半島での一触即発の戦争の危機が収まり、第2回朝米首脳会談は決して失

望するものではなく、より大きな合意を生み出す過程だと評価した。

トランプ大統領が金委員長との信頼を表明して対話の軌道を維持されたことに感謝し、韓国は朝鮮の非核化のために米国と「完璧に同一」な考えで最後まで共助することを約束すると表明した。青瓦台報道官は今回の首脳会談の成果を「消えかけた対話の火に息を吹きかけて蘇らせた」としている。

金正恩委員長は4月12日の最高人民会議での施政演説で「トランプ大統領とは個人的に何時でも書信の交換ができる良好な関係だ」とし、「年末まで忍耐を持って米国の勇断を待つ」と語り、米国の方針転換を促した。高い買い物が無駄にならないことを祈るばかりだ。(鐵)



▲ホワイトハウスで会談する韓米両首脳

文在寅政権は、民族自主を實踐する 民主政権にならない 韓統連生野支部定例学習会

2月末の第2回朝米首脳会談と4月11日に開かれた韓米首脳会談の結果をふまえ、韓統連生野支部定例学習会「民主政権と韓米関係」が4月21日(日)、韓統連生野支部で開かれた。



▲韓米首脳会談の評価などを報告する金昌範代表委員

学習会では講師を金昌範(キム・チャンボム)韓統連生野支部代表委員が担い、初めに2月末に開かれた朝米首脳会談について、首脳会談後のトランプ大統領の記者会見と李容浩(リ・ヨンホ)外相の記者会見内容を紹介しながら、「事前にはほぼ合意に至っていたが、米国側が急に朝鮮に対する要求を上げたため合意に至らなかった。その背景には反トランプ勢力による妨害があった」と指摘しながら、「残念な結果にはなったが、決裂したわけではない。第3回朝米首脳会談開催の可能性はある」と語った。

続いて金代表は、韓米首脳会談について「文在寅大統領は金剛山観光事業の再開、開城工業団地の再稼働を主張することができなかつただけでなく、トランプ政権に従属する対応をとっている」と指摘した。

そして文政権の今後の課題として「民族自主の考えに一定理解を示す民主政権ではなく、民族自主を實踐する民主政権にならない」と主張した。

報告後は「なぜ文在寅大統領は、トランプ大統領にもっと自主的な立場をとらないのか」など活発な討論が行われ、学習会は終了した。

学生協定期総会 高来鳥新会長を選出 学生協第29期定期総会

在日同胞学生の立場から自主・民主・統一運動に寄与する組織として結成された、在日韓国人学生協議会(略称:学生協)が4月14日(日)、国労大阪会館(大阪市北区)で「在日韓国人学生協議会29期定期総会」を開催した。

総会では初めに、金里紗(キム・リサ)学生協会長が「昨年1年間、学生協は学習会を中心にしながら活動を続けてきました。この成果をもとに、活動をより前進させてほしいです」と会長挨拶を語った。



▲新執行部を中心に参加者全員で記念写真

次に激励辞として、朴明哲(パク・ミンチョル)韓統連中央本部組織局長が「今日の定期総会を契機に一人でも多くの学生を学生協に参加させて、組織強化を図ってください」と述べるとともに、金隆司(キム・ユンシ)韓統連大阪本部代表委員が「今、韓国の学生をはじめ民衆は祖国統一に向けた準備をしています。私たちも今から祖国統一に向けた準備をしていこう」と激励した。

続いて、金承民(キム・ソンミン)韓青中央本部委員長の連帯辞の後、議案審議が行われ、2018年度事業総括案、決算報告、2019年度活動方針案、予算案が一括提案された、特に活動方針案では▲統一マダン事業に主体的に参加し、統一世論を喚起する。▲定期的に歴史学習会を開催する。▲キャンプを企画するとともに、様々な交流事業を通じ、在日同胞学生を結集させるなどが提案され、満場一致で総括案、方針案が採択された。

その後、執行部が総辞職して役員改選が行われ、新たに高来鳥(コ・レオ)氏が会長に、副会長に千理宇(チョン・ソウ)氏が選出された。

高来鳥新会長は就任挨拶を通じ「方針でもあるように、いろいろな交流事業を通じて一人でも多くの在日同胞学生を学生協に参加させ、共に民族的に生きやすい社会を目指していきます」と就任辞が述べられ、学生協定期総会は終了した。

映画を通じて朝鮮学校の歴史と現状、 差別撤廃を訴える 映画「アイたちの学校」上映会

日本政府による朝鮮高級学校に対する高校無償化対象からの除外など、朝鮮学校に対する差別措置が継続される中、朝鮮学校の歴史と現状を伝えるため「アイたちの学校」上映会（共催：“アイたちの学校”韓国・米国上映を応援する勝手連など）が4月21日（日）、東成区民センター（大阪市東成区）で開かれた。

「アイたちの学校」は日帝植民地からの解放後、日本全国で設立された朝鮮学校がGHQ、日本政府からの差別、弾圧を受けながらも、学校を守るため様々な運動を行ってきたことについて、その

歴史と現状を伝えるドキュメンタリー映画として製作され、全国各地で上映会が行われている。

映画上映終了後、映画の監督を担った高賛侑（コ・チュウ）さんと大阪国際大学准教授の谷口真由美さんのトークイベントが行われた。

トークイベントでは、高賛侑さんが映画制作に至る経緯や過去の自らの経験を語りながら「世界各国にはいろいろな差別があるが、日本社会の差別は尋常でない。日本政府が率先して行っている官制ヘイトだ」と述べながら、「この映画を通じて朝鮮学校の歴史と民族教育の大切さを知ってほしい」と参加者に訴え、谷口さんは自ら行っている人権活動を通じ「現在の若い世代の日本人は、日本の加害の歴史を知らない人が多い。近代史、現代史をしっかりと教えるべきだ」と述べ、「日本政府が朝鮮学校に行っている差別措置を、もっともっと世界各国に発信して是正させていかなくてはならない」と語り、映画上映会とトークイベントは終了した。

学生協 高来鳥会長 就任辞

この度、学生協会長に就任しました高来鳥（コ・レオ）です。

現在、朝鮮半島では南北の和解が進展しています。

一方、日本では民族差別が続くことにより、在日同胞が民族的に生きることが難しくなっています。そんな日本で一人でも多くの在日同胞学生を見つけ、出会い、学習会などを通して民族的に生きていくことを考えていける学生協にしていくだけでなく、在日同胞学生の団結を強めていきたいと思ひます。

また他団体との交流、連携を深めることによって、朝鮮半島の自主統一に主体的に参加していききたいと思ひます。よろしくお願ひします。



光州民衆抗争39周年

保守勢力の妄言糾弾！真相究明要求！在日韓国人関西地域集会

日時：5月19日（日）午後1時30分 受付／午後2時 開会

場所：学働館（地下鉄阿波座駅7番出口から徒歩7分）大阪市西区川口2-4-2

内容：民衆儀礼

光州民衆抗争追悼行事に参加した韓統連代表団の活動を中心にした

映像資料の上映

情勢講演 講師：韓統連中央本部

決議文採択

参加費：大人：800円・青年学生：500円

主催：韓統連関西協議会 TEL06-6711-6377

【翻訳資料】 セウォル号惨事5周忌記憶式

「なぜ被害者自らが、全てのものを明らかにしていかなければならないのか」

「国が私たちの愛する人々を帰ってこられなくしました。なぜ帰ってこられなくしたのでしょうか？ その理由を明らかにするためには、どうすればいいのでしょうか？ 何をどうしなければならぬのかは、おそらく国がもっとよく分かっているのではないのでしょうか？ なぜ被害者が責任者として調査し、罪を問うていかなければならないのでしょうか？ なぜ被害者自らが一から十まで全てのものを明らかにしなければならぬのでしょうか？ 一体なぜ？ 被害者が叫ばなければならない世の中は、誰が作り出したものなのでしょうか？（セウォル号惨事で生還した学生チャン・エジンさんが朗読した“記憶の文字”の中より）」

4月16日、京畿道安山市内で4・16家族協議会、4・16財団が主催し、教育部、行政安全部などが後援

した「セウォル号惨事5周忌記憶式」が開かれた。

セウォル号惨事から5年の時が流れたが、真相究明と責任者処罰はなされず、ゆえにセウォル号惨事5周忌は「追悼式」ではなく「記憶式」として行われた。「セウォル号以前と以後は変わらなければならない」という誓いと「忘れずに記憶する」という約束を再び刻むためだ。

セウォル号の遺族たちは記憶式に訪れた市民の肩に紙の黄色い蝶々を付けていった。肩に黄色い蝶々をのせた市民は黄色いリボンと「忘れません」という文字が書かれたサンバイザーをかぶったまま、照りつける真昼の日の光を浴びつつ記憶式を見守った。

午後3時、式の開始を知らせるサイレンが安山全域に鳴り響き、椅子から立ち上がった参加者は黙祷を行った。

この日の行事には、兪銀恵(ユ・ウンヘ)社会副首相兼教育部長官など政府人士が参加した。

セウォル号惨事の犠牲者である故チャン・ジュ

ニョンさんの父、チャン・フン(社)4・16セウォル号惨事家族協議会運営委員長は「振り返れば、私の人生で一番幸せだった時間は1997年に私たちの子が生まれ、2014年4月16日に私の傍を離れるまでの17年間だった。その日以来、地獄で生きてきた。過去5年間、私の足が踏む場は全てが地獄だった」と悲しい心境を吐露した。

チャン運営委員長は「私たちの子どもたちは、国民を救助して保護しなければならぬはずの国家が、権力を握った者たちが殺した。朴槿恵と国家

安保室が殺した。4・16セウォル号惨事の真相究明は私たちの子どもたちを、304名の国民を殺したその者を全て捉えて処罰しろという国民の要求であり、命令だ」と強調するとともに、「彼らはこの5周忌に至るまで、ずっと証拠を隠

して壊し続けている。6、7周忌になる前にどうか彼らを全て捉えて処罰できるような全ての方法を講じてほしい。4・16惨事特別調査委員会の調査とともに全面的に再捜査し、起訴して殺人者を全て処罰しなければならない」と訴えた。

セウォル号惨事で生還した学生のチャン・エジンさんはこの日、自身が書いた手紙を朗読した。チャンさんは「政治家の中の何名かは、セウォル号惨事を政治的に利用するなどと言う。実際はそうのように言う人々こそが政治的に利用して、国民にセウォル号惨事を政治的に見えるようにして、お互いを仲違いさせた」と批判し、「国民の皆さんがセウォル号惨事を政治的視線ではなく、隣人からの視線で眺めて下さるならば、本当に感謝する」と語った。

この日の舞台には「記憶」と「真実」の象徴である黄色いリボンの造形物が設置され、黄色いリボンの前には「安全な大韓民国の風」を意味する黄色い風車が勢いよく回っていた。



▲安山市内で開かれたセウォル号惨事5周忌記憶式

【コラム】

景福宮にのぼる煙 1

ソウルの北、巨大な光化門をくぐり抜ければ、そこに朝鮮王朝のかつての正宮である景福宮がある。東西約500m、南北約700mの敷地内に、百官朝賀が行われた勤政殿など数多の歴史的建造物が並ぶ。

景福宮は朝鮮建国の後、太祖李成桂(イ・ソング)の命により1395年(太祖4年)に完成し、諸宮官衙が整えられ政治の中心として機能したが、1592年(宣祖25年)の壬辰倭乱(文禄の役)の際に炎上してからは長期間、再建されることがなかった。景福宮が再び国家万機を司る執政の場となるのは276年後の1868年(高宗5年)、興宣大院君李昰応(イ・ハウン)が推進した再建工事の後になる。

この壬辰倭乱の時、景福宮が炎上したのは誰の手によるものかという論争がある。戦火のさなかに没したものを取り沙汰するのはいささか不毛で、まず侵略戦争を起こす方が悪いのだと思うが、この問題は史料という問題を考えさせられるところがあるので少し取り上げてみたい。

まず定説として、景福宮を焼いたのは都の民衆であるという説がある。『朝鮮王朝実録』中の『宣祖修正実録』にはこうある。

「都城(ソウル)の宮殿・官庁が燃えた。(国王の)車駕がまさに出ようとする時、都の中に姦民がおり、まず内帑庫(王室の財物を保管する倉庫)に侵入し、宝物を争って奪った。続いて(国王の)車駕が出ると乱民が大いに蜂起し、まず掌隷院と刑曹を焼いた。この二つの官庁には公私の奴婢の文籍があったためだ。やがては宮殿・官庁と倉庫を大いに略奪し、放火して痕跡を残さなかった。景福、昌徳、昌慶の三宮殿は一時にすべて焼けてしまった」。

小西行長と加藤清正の軍兵がソウルに迫ると、国王の宣祖はソウルから脱出し、平壤そして義州へと逃げ延びた。国王が都を見捨てるに至って、民衆たちは絶望と怒りゆえに蜂起し、宝物庫を略奪し、さらに奴婢であった者たちは自らの身分を

束縛する文書を焼き、そして各宮殿を略奪して放火したということだ。分かりやすい説であり、古くからこの説が言われてきた。

しかし、この史料自身を改めて見直すと若干疑問が出てくる。なぜかと言うと、この時代を記した『朝鮮王朝実録』は2種類あるからだ。まずは1610年(光海君2年)に編纂された『宣祖実録』、方や1657年(孝宗8年)に編纂された『宣祖修正実録』。共に1567～1608年の宣祖代の歴史を記した歴とした『実録』である。どうしてこのようになっているのか。

それはひとえに1623年(光海君15年)に起こったクーデター(仁祖反正)に起因する。当時、大北派に擁立され即位した光海君は、中国の明と後金(後の清)が争う情勢の中、中立的な外交政策を取っていた。これに対し光海君の甥である綾陽君(宣祖)を擁立した西人派は、事大崇明を掲げてクーデターを起こし、大北派を政界から一掃した。

その後、西人派政権は自らの正統性を主張するために、自らの史観をできる限り取り入れた実録である『光海君日記』を編纂したが、さらにはすでに存在した『宣祖実録』を改めて『宣祖修正実録』として作り直すに至った。壬辰倭乱を経て史料が散逸・焼失した中で編纂された『宣祖実録』に疑義を呈したのだ。かくして西人派は家蔵史料や文集、野史、雑記を広く収集し、16年かけて『宣祖実録』を修正した。

そうして出来上がった2つの『実録』から壬辰倭乱当時の記事を見ると、『宣祖実録』では民衆が景福宮を焼いた話は見当たらない。ただ「当時、宮闕はことごとく焚焼していたため、倭の大將である平秀家(宇喜多秀家)は衆を率いて、宗廟に入った」と、日本の軍兵がソウルに入る前に、すでに宮殿が焼けていたという話だけが残る。

(好)



▲現在の景福宮勤政殿

◆◆書籍紹介◆◆

「その日暮らし」の人類学

もうひとつの資本主義経済

光文社新書／799円

Living For Today(その日暮らし)という言葉からは、ある種の不安を感じないだろうか？我々は常に「約束された安定」「確約された未来」を求め「漠然とした今」に怯えている。「ゆりかごから墓場まで」という言葉の通り、予め将来の見通しが約束された社会の中で生きる人間がいる一方、世界に目を向けると一寸先は闇の中で不安定な今を開拓する人々の生き様がある。

本書は近年台頭するインフォーマル経済の実態に着目し、タンザニアにおける若き零細商人たちのビジネスモデルを例にあげながら、資本主義経済の中でフォーマル市場を押しよけるインフォーマル市場がどのように形成されていくのかを解説する。

中でもタンザニアでの「貸し借り」に関する考察は面白い。「貸し借り」から債権と債務という形を想像する我々とは違い、彼らは債権者と債務者との間に明確な線引きをしない。線引きをしないので「借金」がうやむやに帳消しされる場合もある。「その日一日をどう生きるか？」という観点が最も重要になる彼らの社会では、常に誰かが誰かに貸しがあり、誰かが誰かに借りがあり、個人間での些細な貸し借りを追求したりしない。するともはや我々が想像する清算と

いう概念は通用しない。彼らは特殊な相互扶助を通じて日々誰かに借りを作り、また誰かに貸しを与えている。

こうした倫理は「ビジネスノウハウの共有」という形で経済活動の中でも顕在化する。新規参入者が増え続ければ、すぐに市場は飽和状態になるが、絶妙なタイミングでパイオニアが現れ、また別の市場が形成される。これを繰り返すことで、その土地の住民に「見合った需要」が可視化されるのであり、大企業が関与することのできない零細商人の活動空間、即ちインフォーマル市場が拡大していくわけだ。

本書は今日の資本主義経済が直面する矛盾が「下からの新自由主義経済化」、即ちインフォーマル市場の台頭という現象によって可視化されていることを提示する。そして、その矛盾の中で閉塞感に陥る我々は「Living For Today」という言葉の意味を肯定的に理解することによって、現状に則さない生き方を実践できるのではないかと期待を主張する。

とは言え依然、積弊が跳梁する日本や韓国に居れば、ライフスタイルの多様化など望むべくもない夢のまた夢。而(し)てあのザマである。(権)



◆行事案内◆

民族はひとつ、祖国はひとつ、同胞はひとつ

第26回統一マダン生野

日 時：5月26日(日) 正午から／場 所：生野区・巽公園(ルート公園)

内 容：韓国民衆歌手ソリタレによるコンサート・ハンテプンによるサムルノリ
スーパーヒーローショーなど多彩な演目

海鮮チヂミ・焼肉・冷やしうどん・インド料理など出店多数

主 催：第26回統一マダン生野実行委員会 TEL06-6711-6377

編集後記

いよいよ5月26日は第26回統一マダン生野です。現在、様々な準備で忙しい日々を送っています。素晴らしい統一マダン生野になると思います。皆さん、ぜひ参加してください。(ソ)

